

議第190号

令和2年度京都市高速鉄道事業特別会計補正予算

(総則)

第1条 令和2年度京都市高速鉄道事業特別会計補正予算は、次に定めるところによる。

(収益的収入及び支出の補正)

第2条 令和2年度京都市高速鉄道事業特別会計予算（以下「予算」という。）第3条本文に「なお、営業運転資金に充てるため、企業債（特別減収対策）7,500,000千円を借り入れる。」を加え、収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入

(科 目)	(既決予定額) 千円	(補正予定額) 千円	(計) 千円
第1款 高速鉄道事業収益	37,804,000	273,000	38,077,000
第2項 営業外収益	5,943,829	273,000	6,216,829

支 出

(科 目)	(既決予定額) 千円	(補正予定額) 千円	(計) 千円
第1款 高速鉄道事業費用	34,606,000	△32,000	34,574,000
第1項 営業費用	28,860,696	△32,000	28,828,696

(資本的収入及び支出の補正)

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

収 入

(科 目)	(既決予定額) 千円	(補正予定額) 千円	(計) 千円
第1款 資本的収入	30,176,000	23,000	30,199,000

2 高速鉄道

第1項	企業債	26,012,000	9,000	26,021,000
第2項	補助金	911,740	9,000	920,740
第3項	出資金	3,236,000	5,000	3,241,000

支 出

(科 目)	(既決予定額) 千円	(補正予定額) 千円	(計) 千円
第1款 資本的支出	42,749,000	23,000	42,772,000
第1項 建設改良費	14,043,548	23,000	14,066,548

(企業債の補正)

第4条 予算第6条に定めた企業債を次のとおり補正する。

起債の目的	限 度 額			起債の方法	利率	償還の方法
	既決予定額 千円	補正予定額 千円	計 千円			
高速鉄道事業特別減収対策企業債	0	7,500,000	7,500,000	証券発行(他の公共団体を含む)又は貸付による。 (他公共団体を含む)又は貸付による。	8.0以内 ただし、直借及び公共団体の見直し後 率見直される公共団体の利率は、直借の利率に引き上げられる。	起債の日から15年以内、均等に償還する。ただし、財政の都合により繰上償還すること。
計	17,425,000	7,500,000	24,925,000			

(他会計からの補助金の補正)

第5条 予算第9条中「3,662,000千円」を「3,940,000千円」に改める。

(他会計からの出資金の補正)

第6条 予算第10条中「3,236,000千円」を「3,241,000千円」に改める。

令和3年2月17日提出

京都市長 門川大作

提案理由

建設改良に要する経費等を補正する必要があるので提案する。